



2024年1月29日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)

問合せ先 広報・IR グループ

<https://www.anges.co.jp/contact/>

連結子会社における事業再編成に関するお知らせ

当社は、2024年1月29日に当社連結子会社である EmendoBio Inc.*¹（以下、「EmendoBio 社」という）のゲノム編集治療について、事業の再編成を進めることを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業再編成を行う背景・理由

当社の連結子会社である EmendoBio 社は、そのイスラエル子会社である Emendo Research and Development Ltd.*²（以下、「Emendo R&D」という）において、ゲノム編集の安全な医療応用に欠かせない精度の高いヌクレアーゼを探索、最適化する技術プラットフォームの開発及びその臨床試験の準備などを行ってまいりました。ゲノム編集治療はこれまで治療法がなかった疾患の治療が可能になるなど、その研究開発に期待が寄せられています。EmendoBio 社では、ゲノム編集治療の課題である狙った以外の場所を切断してしまう「オフターゲット効果」を回避する独自の OMNI ヌクレアーゼの開発を行っており、「オフターゲット効果」の発生が少ない独自のヌクレアーゼを多数開発しております。そして、この OMNI ヌクレアーゼの臨床試験への応用の嚆矢として、米国において ELANE 関連重症先天性好中球減少症の臨床試験の準備を進めてきております。

これまで、Emendo R&D は独自の OMNI ヌクレアーゼの開発にあたり、その探索と最適化を労働集約的に行ってまいりましたが、近時においては、これまで蓄積された大量のデータをベースに、人工知能、なかんずく機械学習を活用し、知識集約的な研究開発体制に移行することを検討してきております。そのような研究開発戦略の検討を踏まえ、2023年10月にガザ地区における紛争が勃発したこともあり、それにより顕在化した地政学的リスクも考慮した結果、このほど以下のとおり、研究開発体制の再編成を行うことといたしました。

2. 事業再編成の内容

上述のとおり、Emendo R&D の研究開発体制を労働集約型から知識集約型に進化させるべく、このたび当社は、Emendo R&D に人工知能の活用を中心とする研究開発機能を集約し、規模もそれに見合ったものに再編成するとともに、その他の機能を米国に段階的に移管し、米国の拠点化を一層促進してまいることといたしました。イスラエルにおける Emendo R&D の施設は継続して使用するものの、研究開発人員を現状から半数以下に削減する検討を始めます。

一方、米国において臨床試験の準備を進めているゲノム編集製品並びに他のパイプラインの研究開発を加速するとともに、米国における EmendoBio 社のゲノム編集技術の導出等を進める目的で、米国における体制を強化加速してまいります。米国における体制強化の具体的な内容につきましては、今後適時にお知らせしてまいります。

3. 今後の見通し

本件につきましては、具体的な人員削減数、新たな研究開発体制等を策定してきているところであり、当該事業再編成に伴う 2023 年度の費用については発生の可能性はあるものの、現時点で詳細は見積りを作成中です。今後開示すべき事項が決定された場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

*1EmendoBio Inc.は当社が 85.3%を出資している当社子会社です(資本金 57,977 千米ドル:従業員 0 名:2022 年 12 月末時点)

*2EmendoBio Research and Development Ltd.は EmendoBio Inc.が 100%出資しています(資本金 47 千米ドル:従業員 99 名:2022 年 12 月末時点)